

響け歌声!

宮前区には、様々な障害を持つ皆さんが利用している施設や地域作業所があり、そこに通う皆さんが集い、練習を重ねてベートーヴェンの「第九」を原語で歌います。練習の成果を是非聴きにいらして下さい。

第8回 しあわせを呼ぶコンサート



第1部：合唱

千の風になって

宙船

BELIEVE

ベートーヴェン交響曲第9番 第4楽章

「歓喜の歌」より抜粋

(独唱) ソプラノ：佐藤 容子 アルト：佐藤 寛子

テノール：吉原 教夫 バリトン：須山 智文

【出演】

旬彩厨房じんべい/セルフ宮前こぼと/
トゥーランブラン宮前/長尾けやきの里/
みずき/宮前ハンズ/宮前ふれあいの家/
宮前ブロッサム/れいんぼう川崎

しあわせフィルハーモニー 指揮：久保田 悠太香

【賛助出演】

アンサンブル・シエーネ/女声コーラス・トルチェ/
高津メンネルコール有志/ナルク川崎
メープルリーフ西有馬小PTAコーラス

合唱指導：齋藤 新/青木 敏子/住吉 和子

第2部：ゲスト・ステージ

★ 魅惑のタンゴ ★

ラ・クンパルシータ
La Cumparsita

ジェラシー
Jealousy

バンドネオンの嘆き
Quejas de Bandoneon

タンゲーラ
Tanguera

パリのカナロ
Canaro en Paris
/他



●バンドネオン●
啼 麟

【オーケストラ】しあわせフィルハーモニー



●指 揮●
久保田 悠太香



●コンサートマスター●
木野 雅之

2007年9月7日(金) 13:30開演 (12:30開場)

宮前市民館大ホール

川崎市宮前区役所となり 東急田園都市線宮前平駅下車 徒歩10分
車でのご来場はご遠慮下さい。

先着順・入場無料

※800席 お席に限りがありますので、あらかじめご了承ください。

ロビーにて地域作業所で製作した物品等の販売も行います。



主 催：川崎市宮前区

問 合 せ：川崎市宮前区役所地域振興課

tel.044-856-3132

fax.044-856-3119



● ソプラノ：佐藤 容子 (さとう ようこ)

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程独唱科修了。現在同大学院博士後期課程に在籍。

第17回奏楽堂日本歌曲コンクール第2位。第75回日本音楽コンクール入選、併せて木下賞（日本歌曲最優秀歌唱賞）受賞。

2003年第23回台東区「第九」公演にてソリストとしてデビュー。これまでに、ハンス=マルティン・シュナイト氏、小林研一郎氏、高関健氏等の指揮者と共演。2007年2月、音楽評論家・三善清達氏等の推薦により「府中の森芸術劇場・めばえコンサートvol.23」にて東京でのリサイタルデビューを果たす。地元である山形でも幅広い活動を展開し、2004年6月国際ソロプチミスト山辺「クラブ賞」を受賞。現在博士課程において研鑽を積みながら、多くのコンサートやソリストとして活躍中。

伊藤京子、永井和子、直野資、藤野恵美子、吉田コカリの各氏に師事。

● アルト：佐藤 寛子 (さとう ひろこ)

1983年生まれ。山形県山辺町出身。山形県立山形北高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。現在同大学院修士課程独唱科在学中。

第54回全日本学生音楽コンクール声楽部門高等学校の部全国大会第1位。第73回選抜高校野球開会式で「君が代」独唱。第1回高校生のための歌曲コンクール優秀賞受賞。副賞としてイタリアへ短期留学。国文化祭山形2003開会式で県民歌「最上川」独唱。2003年若大オペラ定期公演モーツァルト「フィガロの結婚」花嫁役を演じる。2002年より若大講師で作曲家の伊藤康英氏の演奏会に多数出演。歌曲集「みだりしすか」「金子みすゞの詩による童謡集」を初演する。さらに伊藤氏と共に全国各地で演奏活動を行っている。地元山形では「スプリングコンサート」や「やまのへん壇音楽祭」をはじめ多数の演奏会に出演。2004年6月国際ソロプチミスト山辺「クラブ賞」を受賞。現在、永井和子氏に師事。

● テノール：吉原 教夫 (よしはら のりお)

新潟県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。現在、同大学院修士課程ソロ科在学中。卒業に当たり、船田トシ賞、アカンサス音楽賞、同声会賞受賞。同声会新人演奏会、第76回読売新人演奏会に出演。

2005年12月高関健指揮、第55回「若大メサイア」(朝日新聞主催)でソリストを務めた。その他、トヴォルジャークのミサ曲などのソリストも務める。

ランニングクルスの会、東京ミュージックアーツ会員。

● バリトン：須山 智文 (すやま さとみ)

東京都出身。東京学芸大学小学校教員養成課程を経て、東京芸術大学声楽科卒業。同別科修了。二期会オペラ研修所50期マスタークラス修了。修了時に優秀賞を受賞。横山和彦、高橋修一、直野資、各氏に師事。

これまで「魔笛」(リヴァーノ)、「メリーウィドウ」(カスカータ)、「アポロンとヒュアキントス」(セピュロス)、「ゴジ・ファン・トゥッテ」(ドン・アルフォンソ)、「ラ・ボエーム」(マルチェロ)等に出演。モーツァルト劇場の創作オペラ「不思議の国のアリス」の初演に出演。またコンサートでは、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」などのソリストを務める。

現在、東京芸術大学修士課程独唱科に在籍中。二期会会員。



佐藤 容子



佐藤 寛子



吉原 教夫



須山 智文

● パントネオン：崎 麗 (ていほう)

東京芸術大学附属高校を経て同大学作曲科卒業。若高在学中は自身がピアノリストを務めたロス・ソリスタス・デ・タンゴ・若高を率いて活躍。またパントネオンを独習。須川展也、葉加瀨太郎、live image、川井郁子、あがた森魚、カルメンマキ、安寿ミラなどのツアーに参加。その他これまでに菅原洋一、芦野宏、阿保祐夫、羽山幸彦などをサポート。

1998年にはカンツォーネの女王、ミルバの日生劇場35周年記念公演「七つの大罪」にピアノリストとして参加。2000年に漫遊し、第3回オウルンサロ国際音楽祭に参加。ピアノリストのパントネオン協奏曲「3つのタンゴ」を演奏。2002年には武満徹の唯一のパントネオン作品「Cross Talk」を再演。2003年にテレビ朝日開局45周年記念ドラマ「流転の王妃」の編曲を担当。同年モスクワ・フィルハーモニーとの録音のため漫遊。ロス・マエストロ・ステル・タンゴのリーダー、広島を本拠地としたモダン・タンゴ五重奏団メンバー、佳歌クアルテットのフィオラ演奏者、アコースティック・ユニット、といまわくすメンバー、フュージョン・バンド「なあとくんとていほうくん」での活動等、マルチ・ミュージシャンとしてグローバルな活動を展開中。

主な参加CDに「Cafe 1930/須川展也」(東芝EMI)「The Red Violin/川井郁子」(Victor)「あのごろ...日本のマエストロたち/といわくす」(BMGファンハウス)「鉄腕アトム・オリジナル・サウンド・トラック」(SONY)「流転の王妃オリジナル・サウンド・トラック」(HATS)など。また「ザ・サクソフォーン」シリーズ(アルソ出版)の他、全音、ヤマハ・ミュージック・メディアから独自のアレンジを施したピアノ曲集を出版している。

● しあわせフィルハーモニー

○指揮：久保田 悠太吾

○コンサートマスター：木野 雅之

○ヴァイオリン：船村 一郎/相原 千興/佐野 貴昭

○ヴィオラ：船実 健太/亀井 綾乃

○チェロ：常光 聡/中田 有

○コントラバス：船本 広治

○パーカッション：加藤 恭子

● 指揮：久保田 悠太吾 (くぼた ゆたか)

「上野音楽学園」でヴァイオリンと音楽の基礎を学ぶ。フランス Tours市音楽院マスタークラスでテュプリユール教授に師事。東京で斎藤秀雄の指揮法メソッドと音楽のアナリゼを学ぶ。ロンドンでW.リード博士にイギリスの音楽史とエルガー以後の音楽を、ミラノ宗教音楽学校でアゴスティーニにプレグリア聖歌と宗教音楽を学ぶ。

南ドイツ室内管弦楽団を指揮してドイツ楽壇にデビュー。ヨーロッパのメジャー・オーケストラの首席を務める日本人演奏者を集めて結成された「ユーロ・ジャパン・オーケストラ」の常任指揮者に就任。高度な演奏技術と様々なジャンルの曲を音楽性豊かに表現するフィルテオソフ・オーケストラとしてヨーロッパに衝撃を与える。オーストリアのプレゲンツ音楽祭、スイスのアスコナ、ロカルノ音楽祭をはじめフランス、ドイツの各地の音楽祭に毎年出演し、その演奏はスイス国営放送でオン・エアされる。スイスのルガーノ国営放送交響楽団に初めての日本人指揮者として客演。バロック音楽からスイスの現代曲までを演奏し、放送のための録音を行う。イタリアのヴェローナ・フィルハーモニー・オーケストラに客演。トニゼッティ、ロシアニ、ストラヴィンスキー、邦人作品をCD録音、リリースしている。

● コン서트マスター：木野 雅之 (きの まさゆき)

1977年第31回全日本学生音楽コンクール中学校の部全国大会第1位受賞。80年第49回日本音楽コンクール入選。桐朋学園を経て82年ロンドンのギルトホール音楽院に入学。イブラ・ニーマン、ナタン・ミルシコタイン、ルッジェーロ・リッチ、イブリー・ギトリスの巨匠に師事し研鑽を積んだ。83年イタリア・ロトルフォ・リビツァー国際ヴァイオリン・コンクールで審査員全員一致で優勝。84年ロンドン・カール・フレッシュ国際ヴァイオリン・コンクールにて最高位とW・H・スミス賞と聴衆賞を獲得。85年パリ・メニューヒン国際コンクールでサロン音楽特別賞を受賞。87年にはその前年度に英国内でオーケストラとコンチエルトを演奏した将来性ある優れた演奏家に贈られる「ロイヤルオーケストラ協会シルバメダル」を授与され、ロンドンで記念演奏会を行った。88年ベルリン・ルッジェーロ・リッチ国際マスター・コンクール優勝。90年アメリカ・バームビーチ招待国際ヴァイオリン・コンクール優勝。

84年より本格的な演奏活動を開始し、現在日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・コンサートマスター、桐朋学園大学講師。